

## 基 調 講 演

テーマ：なぜ島根発（資源循環型）の水環境修復技術の開発が必要か！

講師：島根大学生物資源科学部地域開発科学科 教授

農学博士 野 中 資 博



略歴：

昭和 25 年 10 月 佐賀県生まれ

昭和 50 年 3 月 京都大学大学院農学研究科修士課程（農業工学専攻）修了

昭和 50 年 4 月 島根大学助手（農学部・農業工学科）

昭和 60 年 4 月 島根大学助教授（農学部・地域開発科学科）

平成 7 年 4 月 島根大学教授（農学部，生物資源科学部） 現在に至る

講演の内容：

リンは植物の必須栄養素の一つであるが，水環境中に放出されると富栄養化の主要因となる汚濁物質となる。また，将来枯渇が危惧されている天然資源でもある。本研究開発のコンセプトを下図に示した。今までに進めてきた水環境問題を解決するための材料開発およびその循環利用に関する研究成果に基づき，今後はこの材料群の更なる高度利用による宍道湖・中海などの水環境修復への寄与と共に，リンをはじめとする各種資源の再資源化技術および完全循環利用システムの構築を目指す。このように水環境問題の解決，各種資源の枯渇問題の解決，さらに，資源化産業の振興および農林水産業の振興を複合化した概念を島根発の革新技术として鋭意推進していく予定である。

